

りんどう

平成27年3月19日 発行

3学期終業式での西山校長の話

別れを惜しむ心

< あっという間の3学期 >

1月は「行く」、2月は「逃げる」、3月は「去る」と言われるほど、3学期はあっという間に過ぎました。そして、3月は「別れの時」でもあります。そこで、今日は「別れを惜しむ心」についてお話しします。これは、昔ある校長先生から聞いた話です。そこから考えてみましょう。



< けじめをつけた生徒 >

その校長先生がある中学校に勤務していた2年目のことです。その学校では、卒業式が近くなっても3年生の中に髪の毛を染めている生徒が4人いました。その生徒たちは、時々授業を抜け出したり、物を壊したりするような、問題の多い生徒たちでした。髪の毛も担任の先生が注意しても聞き入れずに茶髪のままでした。

卒業式の近くになって、教頭先生が「あの子たちの髪の毛を黒く染めさせますか」と言いました。しかし、この校長先生は「いや、そんなことはしなくていい。あの子たちの判断に任せよう」と言ったそうです。それを聞いた担任の先生は、「君たちの判断に任せる」と伝えたそうです。すると、卒業式当日、その生徒たちは全員髪の毛を黒く染めてきたそうです。いよいよという時は、きちんと判断できるので、これが「けじめ」の一つです。その校長先生は、とてもうれしい気持ちになって卒業証書を一人一人に手渡したそうです。

さて、卒業式が終わって、校長室でPTA会長とお茶を飲んでしていると、「失礼します」と言って、その生徒たちが入ってきました。「どうした？ 何かあるの？」と聞くと、4人ともぼろぼろ涙を流し始めたそうです。そして、「今日、卒業してよかったね」と言ったら、その中の一人が「長い間、迷惑をおかけしました」と言ったそうです。「何を言ってるの。迷惑なんて思っていないよ。今日は立派に卒業したじゃないか。胸を張りなさいよ」と言うと、「先生、許してもらえますか」と言います。「許すも許さないもないよ。君たちは本校の卒業生じゃないか。胸を張りなさいよ」と言ったら、もっと泣かれました。

しばらくしても帰ろうとしないので、「まだ何かあるの」と聞くと、「先生方に謝りたいが、どうすればいいですか」と言います。そこで「謝ってけじめがつくのならそうしなさい」と言ったそうです。その後4人は職員室に行って先生方に謝っていました。「先生、長いことご迷惑をお掛けしました。許してもらえますか」と。生徒たちはけじめをつけたのです。

そして、春休みになって校長室にいと、またあの4人が「失礼します」と言って校長室に入ってきたそうです。「今日は何かね」と聞くと、「この間、先生方に謝って帰ったけれど、それだけじゃ卒業したことにならないので、みんなで相談して学校の掃除をしよう決めました。今日は掃除をさせてください」と。そう言って、約2時間、職員室や校長室、事務室、そして、トイレを本当にきれいに掃除して帰ったそうです。

< 惜しむ心を大切に >

この生徒たちは、一面いろいろ悪いことをして迷惑をかけてきました。しかし、惜しむ心は持っていますし、けじめの付け方も知っていると思います。このけじめをつけるということが、「時を惜しむ」ということです。

さて、いよいよ明日は卒業式です。卒業式は学校にとって最も大事な儀式であり、今年度積み上げてきたことの総決算でもあります。お世話になってきた人や物との別れの時でもあります。それぞれの学年で惜しむ心を大事にして、厳粛で気持ちのこもった最高の式にしてほしいと思っています。その気持ちは、あなたたちの声や態度になって表れます。

＜ 卒業に向けて ＞ ～ 今年までで 11,456 名の卒業生 ～

同窓会入会式

3月16日(月)に西部中の第1回卒業生である丸山義範同窓会長を迎えて、「同窓会入会式」が行われました。

丸山会長からは、「命を大切にしてほしい。それは、命は作り直すことができないものであり、その命を壊す権利はないからである」、「なぜ勉強するかを考えてみてほしい。それは、楽しい人生を送るためである。勉強した人間だけが本当の楽しさを知っている」というお言葉をいただきました。



3年生を送る会

3月17日(火)に校友会による「3年生を送る会」が行われました。役員の寸劇で始まり、各学年の発表、3年間の出来事のスライドでの紹介、学級担任からのメッセージなどがあり、楽しい中にも涙のある会になりました。また、今回も3年生の歌声のすばらしさに圧倒されました。最後に3年生は1・2年生全員が作るアーチの下を通して退場していきました。

新入生学校説明会

2月16日(月)に新入生学校説明会が行われました。昨年度まで10月に行っていましたが、そちらは学校公開日として授業や部活動を自由に見学してもらい、説明会をこの時期に実施しました。

今回は1年生も児童・保護者への説明会に参加し、中学校生活について説明したり、合唱を披露したりしました。新入生に説明することで、1年生も“先輩になる”ということを実感し、1年間の成長を伺うことができる会となりました。



北信教育事務所との
合同研修会

2月24日(火)に北信教育事務所と本校職員の合同研修会を行い、各教科の指導主事が来校して授業参観や教科会を一緒に行いました。

全体会では国立教育政策研究所総括研究官の千々布敏弥先生のお話があり、長野県教育や本校の指導のあり方について助言していただきました。

今後も連携を深めていきたいと思っております。

＜ 26年度末 転退職職員の紹介 ＞

氏名	教科等	異動先等
勝野 雅文	英語	塩尻市立広陵中学校 (教頭)
黒沢 浩二	数学	長野市立裾花中学校
山森 俊浩	社会	長野市立広徳中学校 (教頭)
高木 淳	英語	長野市教育委員会 (指導主事)
緑川 由紀	音楽	退職
保科 弥生	専門幹	退職
西澤 令一	庁務員	退職
森泉 伸子	支援員	長野市立北部中学校 (支援員)
飯島ゆりえ	支援員	長野市立川中島中学校 (初任研支援)

